

これから、B班の成果発表を始めます。
私は小美玉市役所管財課 新井 璃乃 と申します。
よろしくお願いいたします。

まず私たちは、竹原地区の地図を作成するにあたり
『竹原地区に点在する名所の昔から伝わる逸話やエピソードをまとめたマップ』
をテーマとしました。」

A【子安神社】

B班は最初に、マップ上のAにある「子安神社」に向かいました。

こちらには、かつて永福寺に保存されていた白磁製のマリア観音像が秘仏されています。

秘仏とは、普段は公開されておらず、仏龕などに納められていることです。子安神社には、女性の難産を救うということで、信者が多数参拝していました。町内では、数少なくなった妊婦の腹帯を授ける所となっていました。

このマリア様は、秘仏とされていましたが、いくつかの不思議な言い伝えがあります。その中の1つとして、山野をめぐり歩いて修行する修験者がマリア様を盗もうとして手を掛けたが、持ち上げることができず、近くで遊んでいた子どもたちに持ち出すよう頼んだところ軽々と持ち上げてしまうという話があります。これを見た修験者は一目散に逃げ去ったそうです。

子安神社では、安産を祈願して、現在は12月19日に地元の人たちで子安神社祭りが行われています。

B【孝謙天皇宮】

次にマップ上のBにある「孝謙天皇宮」に向かいました。

こちらは、孝謙天皇を祀った神社になります。孝謙天皇は、天皇陛下に2度ほど在位された女帝です。孝謙天皇宮の創建年代については明らかになっておりません。伝説によると、この孝謙天皇宮は、弓削道鏡(ゆげのどうきょう)の意志を受け、地元住民が祠を建てたと言い伝えられています。また、孝謙天皇宮は、北向きに位置しており、マップのDにあります道鏡法王祠(どうきょうほうおうし)と対座しています。

大の相撲ファンであった孝謙天皇は、かつての孝謙天皇宮の祭事では必ず相撲が行われ、各地から力自慢の人たちが大勢集まっていたそうです。現在は、規模の縮小はありましたが、地元の方々を中心に、9月の第一日曜日に開催されています。

私は鬼田岳哉と申します。
よろしくお願いいたします。

C【竹原神社】

続いて、マップ上の C にある「竹原神社」へ向かいました。

竹原神社は竹原上町区の上り坂のふもと、いわゆる旧水戸街道沿いに鎮座しており、諸説あるようですが1645年の創建といわれています。江戸時代、明治時代、大正時代を経て、いまの竹原神社という呼び方になりました。

現在では、7月第3週の土日に、神社の御神体が園部川伝いで漂着したという伝説を基にした、アワアワ祇園祭が開催され、大きな盛り上がりを見せています。具体的には、神輿に川の水をかけたり、燃やした藁を蹴散らしながら神輿を担いだりという、ユニークな内容にて行われています。

境内には、ご神木として大きなウワミズザクラが植えられており、地域の誇りとなっています。また、梅雨時期には1,500本のアジサイが咲き誇り、当該期間には竹原アジサイ祭りが開催されるなど、地域に大いに親しまれている神社です。

D【道鏡法王祠】

続いて、マップ上の D にある「道鏡法王祠」へ向かいました。さきほど説明をした新井さんからの発表でもこの祠の名前が出ましたが、道鏡とは孝謙天皇(称徳天皇)に重用された僧侶です。天皇なき後に、下野国薬師寺に左遷された道鏡を、竹原に迎え入れたという伝説があります。

ところで、この祠の社にはいわゆる「道鏡さま」というものが祀られているのですが、これはいわゆる男根を模した石造が2本、祀られている次第です。

道鏡という人物は大層な男根を持っていたという伝説があり、かつては安産や性病完治、さらに、かつて水戸街道の宿場町だった竹原の遊女たちが商売繁盛のためにお参りしたといわれています。

現在では、2月8日に椿山神社の神事の後に、祭礼が行われています。

私は遠藤雅樹と申します。
よろしくお願いいたします。

E【羽黒古墳】

次に B 班はマップ上の E にある羽黒古墳へ向かいました。

羽黒古墳は五世紀中頃、園部川を望む舌状台地に造営された前方後円墳であり、大和朝廷との深い繋がりを示唆する重要な古墳です。

霞ヶ浦沿岸には同様な規模の前方後円墳が点在し、舟運により発展したであろうことが伺えます。

また茨城町小幡の埴輪製作遺跡にも近く、後の時代に国衙となった石岡にも近いことから、たいへん豊かで栄えた地であったろうことは想像に難くありません。

行方の三昧塚古墳、石岡の船塚山古墳、かすみがうら市の富士見塚古墳同様整備保存し、歴史を伝えていきたいと強く感じました。

F【竹原城址】

次に B 班はマップ上の F にある竹原城址へ向かいました。

竹原城は、当時水戸城の江戸氏に対する最前線として府中城主、大掾貞国(だいじょうさだくに)の弟義国(よしくに)が永禄2年(1559年)に竹原に館を築き、30年後の天正18年、佐竹氏によって落城したと伝えられている。

竹原城址は園部川低地に浮かび上がるように築かれた平城です。

西側を流れる園部川、周囲を湿地帯が囲んでいるため攻めるに難い城だったのではないのでしょうか。

ただ一般的な城より規模が小さく、城というよりは館と呼ばれる大きさだったのではないのでしょうか。

そのため大軍に包囲されればひとたまりも無く、大掾氏への忠義を貫き、城を枕に討ち死にした竹原氏はさぞかし無念であったでしょう。

戦国時代というと有名な武将の活躍ばかりが取り上げられがちですが、身近に遺る城跡を眺め、かつての坂東武者の活躍に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

私は小美玉市役所商工観光課 内田 魁と申します。
よろしくお願いいたします。

G鳳林院(ほうりんいん)【竹原中郷】

次に私たちはマップ上のGの竹原中郷にある「鳳林院」へ向かいました。
ここではマップの写真にあるように、住職の方から直接お話を伺うことができました。鳳林院は約 540 年の歴史があり、小美玉市で 1 つの曹洞宗(そうとうしゅう)とのことで、参道・境内(けいだい)には、小美玉市指定文化財や唯一無二の龍柱(リュウチュウ)など数多くの見どころが点在しておりました。
また、鳳林院では初心者でも気軽に参加できる座禅会や写経(しゃきょう)などの体験イベントも充実しており、普段味わうことのできない貴重な体験ができると知り、とても興味深いと感じました。その他にも鳳林院のどこかに金の茶釜が埋まっているという言い伝えがあることや、千両箱が出てきたことがあるなど、興味深い数多くのお話を伺うことができました。

H鹿島神社(かしまじんじや)【上馬場】

最後に私たちはマップ上のH、上馬場にある「鹿島神社」へ向かいました。
鹿島神社は上馬場と竹原中郷の土地や建造物を守護する神様を祀った神社です。神社の本殿は推測で鎌倉期の創立と伝えられていますが、何度かの修復が加えられ、特に江戸時代中期に大きな修復の手が加えられ現在に至っているのではないかとのことでした。マップの写真には写っていませんが、鳥居の反対側の参道では、古来は流鏝馬(やぶさめ)の神事(しんじ)が行われ、多くの参詣人(さんけいにん)で賑わっていたそうです。また、今回普段なら入ることができない堀の中に入れていただき、建物の彫刻部分など間近で拝見し、貴重な経験をすることができました。

「最後になりますが、今回私たちは竹原地区コミュニティの皆様のアドバイスの元、フィールドワークや地図作成などを行ったことにより、本事業を通して竹原地区の今まで知らなかったスポットや歴史など多くのことも知るきっかけになりました。
以上で B 班の成果発表を終わりにいたします。ご清聴ありがとうございました。」